

催し・講座

国際版画美術館

スクリーンプリント一日教室

対 高校生以上の初心者

日 11月10日(金)、11日(土)、いずれも午前10時30分～午後4時(各回とも同一内容)

場 同館

内 シルクスクリーンとも呼ばれる版木の技法で布バッグやカードを製作(道具、材料は同館で用意)

定 各10人(市内在住の方、過去5年以内に同館主催の講座を受講されていない方を優先のうえ抽選)

※結果は10月19日ごろ全員に郵送します。

費 3000円

申 10月3日正午～15日にイベントダイヤル(☎724・5656コード171003H)へ(同館ホームページで申し込み可)。

問 同館 ☎726・2889

多摩・三浦丘陵の緑と水景をたのむ・まなぶ・まもる!

体験 & イベント月間

【多摩・三浦丘陵 里地里山文化プログラム】

多摩・三浦丘陵は、緑と水景が連なる豊かな里地・里山の環境が残っており、この環境を守るためにさまざまな活動が行われています。

本プログラムは、その活動を多くの人に知ってもらい、参加するきっかけをつくるため、関連する13自治体が連携して開催します。

期間中、多摩・三浦丘陵で開催されている体験やイベントの詳細は、チ

ラシ(公園緑地課[市庁舎8階]で配布)または多摩・三浦丘陵トレイルホームページをご覧ください。

開催期間 10月14日(土)～29日(日)

※申し込みは、各体験・イベントの問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

問 公園緑地課 ☎724・4397

第2回ふれあい落語

対 6歳以上の方

日 12月9日(土)午後2時30分～3時30分

場 木曾森野コミュニティセンター

出演 三遊亭粹歌、春風亭朝之助

定 180人(申し込み順)

費 500円(全席自由)

申 10月3日正午～12月6日にイベントダイヤル(☎724・5656コード171003F)へ。

問 町田市民ホール ☎728・4300、町田市民協働推進課 ☎723・2892

第2回ふれあいコンサート

町田市ゆかりのピアニストによる連弾デュオ・コンサートです。

対 6歳以上の方

日 12月10日(日)午後2時30分から

場 南市民センター

出演 室井悠季、楠絵里奈

定 300人(申し込み順)

費 500円(全席自由)

申 10月5日正午からイベントダイヤル(☎724・5656コード171005G)へ。

問 町田市民ホール ☎728・4300、町田市民協働推進課 ☎723・2892

再就職を目指す

女性のための職業訓練

【5日間コース～Word・Excel基礎科】
東京都と共催です。

※原則受講決定後の辞退はできません。

対 結婚・出産・育児等で退職し、再就職を目指す女性で、次のすべての要件を満たす方 ①ハローワークで求職登録をしている ②全回参加できる ③訓練修了後、ハローワークに職業相談をすることができる

※6か月以上の未就学児(10人)は、訓練中、同施設内でお預かりします。

日 10月30日(月)～11月3日(祝)、いずれも午前10時～午後3時、全5回

場 町田市文化交流センター

定 10人(要件を確認のうえ、抽選)

申 申込書(産業観光課[市庁舎9階]に有り、TOKYOはたらくネットホームページでダウンロードも可)に記入し、10月2日～13日(必着)に直接または郵送で東京都産業労働局雇用就業部能力開発課就業促進担当「Word・Excel基礎科」(〒163-8001、新宿区西新宿2-8-1、第一本庁舎31階北)へ。

※持参の方は、31階北入口の電話で就業促進担当を呼び出して下さい。

問 同局雇用就業部能力開発課就業促進担当 ☎03・5320・4807、町田市産業観光課 ☎724・2129

秋を満喫!親子で巡る

鶴見川流域バスツアー

【秋の鶴見川流域の自然や施設のスケールを体感!】

市民・市民団体・企業・行政の連携による鶴見川流域水マスタープランの取り組みを体験します。

※鶴見川流域水協議会(国土交通省関東地方整備局・東京都・神奈川県・横浜・川崎・町田・稲城市)の主催です。

対 小学3年生以上の親子

日 11月18日(土)午前9時～午後4時20分、集合は午前8時45分にJR横浜線淵野辺駅南口、解散はJR横浜線新横浜駅(荒天中止)

見学地 鶴見川源流保水の森～恩廻公園調節池～川和遊水地～鶴見川多目的遊水地

内 鶴見川源流保水の森の散策、遊水地などの治水施設の見学、リース作り
定 40人(鶴見川流域在住、在勤の方を優先のうえ、抽選)

持ち物 昼食、飲み物、軍手、雨具等
※歩きやすい靴と服装でおいで下さい。

申 住所・氏名(ふりがな)・電話番号・FAX番号・参加者全員の氏名(ふりがな)と年齢を明記し、10月31日午後5時までにFAXまたはEメールで、鶴見川流域水協議会申込窓口アジア航測(株)(☎044・965・0032) mizumasu.tsurumi@ajiko.co.jpへ。

問 同協議会申込窓口アジア航測(株) ☎044・967・6320(受付時間=月～金曜日の午前10時～午後5時[祝休日を除く])、町田市下水道総務課 ☎724・4290

さがまちカレッジ

講座受講者募集

【①木版画を楽しむ～はがきサイズのアート制作】

対 小学5年生以上の方

日 11月12日、19日、26日、いずれも日曜日午前9時30分～11時30分、全3回

講 町田・デザイン専門学校インテリ

デザイン科講師 藤本珠恵氏

定 12人(抽選)

費 4000円(材料費含む)

【②ハンドベルでクリスマスソングを奏でよう】

元玉川大学助教・千葉佑氏による講座です。

対 18歳以上の方

日 11月17日(金)、21日(火)、いずれも午後2時～4時、全2回

定 15人(抽選)

費 3000円

【③こども体験講座～動物の頭の骨を観察してみよう!サルとタヌキの骨くらべ】

町田市子どもセンターただONと共催です。

対 小学3～6年生

日 11月5日(日)午前10時30分～正午

講 麻布大学いのちの博物館上席学芸員・高槻成紀氏

定 20人(市内在住・在学の方を優先のうえ、抽選)

◇

場 ①②町田市生涯学習センター③町田市子どもセンターただON

申 講座案内チラシ裏面の受講申込書(生涯学習センター、各市民センター、各市立図書館等で配布、さがまちコンソーシアムホームページでダウンロードも可)に記入し、いずれも10月16日まで(必着)に、郵送またはFAXでさがまちコンソーシアム事務局へ(さがまちコンソーシアムホームページで申し込み可)。
※申込締切日までに定員に達しない場合は、引き続き募集します。

問 同事務局 ☎747・9038、町田市生涯学習センター ☎728・0071

医療の専門家と一緒に、介護食を作ってみませんか

からだのしくみを学んでおいしい介護食を作ろう!

対 全回出席できる方

日 11月4日、12月2日、16日、2018年1月20日、2月3日、いずれも土曜日午後2時～4時、全5回

場 生涯学習センター

内 冷凍食品・缶詰アレンジでお手軽介護食作り、栄養と適量を考えたなるほどバランス料理、ちょっとひと工夫のお正月料理、小分け・作り置きのできるアイデア料理、介護食持ち寄り試食会とディスカッション

講 相模女子大学栄養科学部准教授・望月弘彦氏、鶴見川サナトリウム病院管理栄養士・松永裕美子氏、海老名総合病院口腔外科部長・石井良昌歯科医師、松林ケアセンター管理栄養士・清水宏美氏

定 介護家族14人、医療・介護職6人(いずれも申し込み順)

費 2000円(材料費)

申 10月1日午前9時～22日午後5時に、電話で生涯学習センター(☎728・0071)へ。

デゴイチまつり

日 10月15日(日)午前10時～午後3時

場 すみれ会館隣接地

※駐車場はありません。

内 D51型蒸気機関車(実物)の内部見学と案内、鉄道資料の展示等

問 児童青少年課 ☎724・4097

2016年度決算

国民健康保険財政の状況をお知らせします

問 保険年金課 ☎724・4027

【2016年度の赤字補てん額は27億円】

国民健康保険事業会計(国保会計)は、保険給付費などの歳出を、保険税と国・都の補助金等の歳入で賄い運営する独立採算が原則です。しかし、保険税収入と国・都からの補助金では保険給付費を賄えず、毎年度生じる歳入不足分を、一般会計からの繰入金に依存する状況が続いています。

保険税率を改定したことにより、被保険者1人あたりの保険税収は増加しましたが、1人あたりの保険給付費(被保険者の医療にかかる給付)も増加しており、依然として厳しい財政状況が続いています。

2016年度は、1人あたりの税収入額が8万5960円に対して、保険給付費が27万4274円となっています。保険給付費が増加する理由として、被保険者の高齢化や生活習慣病の増加、医療技術の高度化などがあります。また、医療機関へのかかり方(同一疾患で同時期に複数受診するなど)によるものもあります。

2018年度からは、東京都が財政運営の主体となって市区町村の国保運営に主導的な役割を果たしていく、都道府県化が決定しています。詳細は、町田市ホームページをご覧ください。

市では、これまでどおり、保険税徴収努力や医療費適正化による財政健全化、特定健診の活用による被保険者の健康増進などに取り組みます。

2016年度国民健康保険事業会計の決算状況

